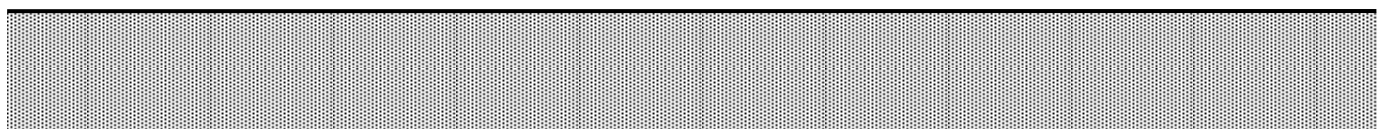
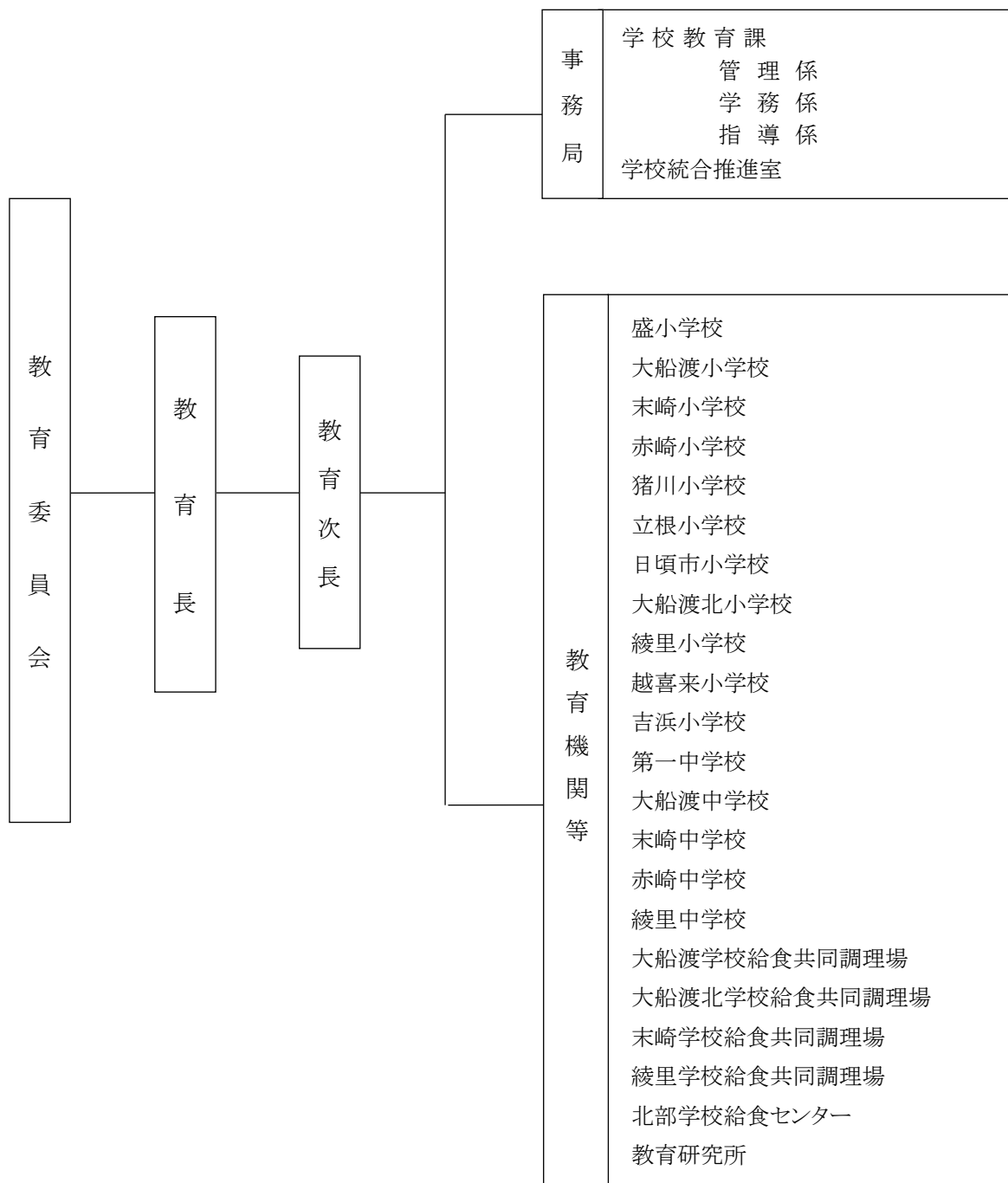


学校教育



学校教育の行政組織図

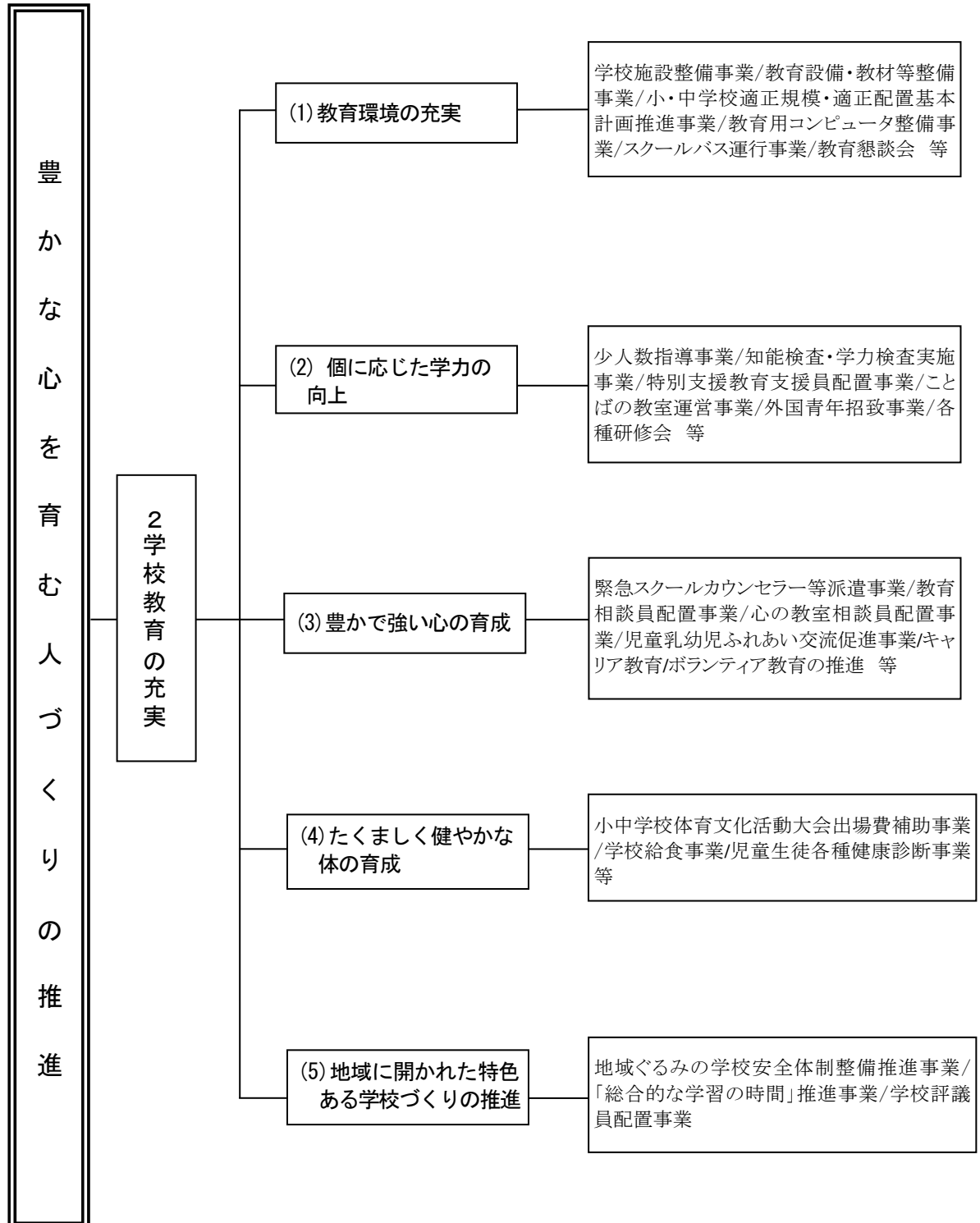


学校教育・学校教育施設の体系図

【基本方針】 【施策】

【基本事業】

【具体的事業】



学校教育方針と事業計画

I 重点事業

- 学校施設整備事業
- 小・中学校適正規模・適正配置基本計画推進事業
- 教育設備・教材等整備事業
- 知能検査・学力検査実施事業
- 教育相談員配置事業
- 心の教室相談員配置事業
- 学校給食事業
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

II 事業計画

2 学校教育の充実

(1) 教育環境の充実

事業名	事業目的	事業内容
学校施設整備事業	学校施設を安全で快適に利用できるよう、施設の適切な維持管理を行う。	各種施設・設備の修繕、保守点検 等
教育設備・教材等整備事業	学習指導要領に対応した授業に必要な学校図書、義務教育用教材や理科教育等設備を整備する。	学校図書の整備、義務教育教材備品購入、理科教育設備の購入 等
小・中学校適正規模・適正配置基本計画推進事業	小・中学校適正規模等基本計画に基づき、適正配置等の取り組みを進める。	学校統合推進協議会の開催 統合学校交流支援バスの運行
教育用コンピュータ整備事業	情報教育・英語教育を推進するため、各学校のICT環境を整備し、適切な維持管理を行う。	コンピュータ、電子黒板の配備、コンピュータ保守管理、ネットワーク環境の整備 等
スクールバス運行事業	遠距離通学児童生徒の通学手段を確保する。	通学スクールバスの運行
教育懇談会	学校経営や授業、児童・生徒の取り組み状況等について、教育委員と教職員が懇談し、学校経営の一層の充実を図る。	年間3～4校で実施

(2) 個に応じた学力の向上

事業名	事業目的	事業内容
少人数指導事業	児童・生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな授業を行うことにより、基礎・基本の確実な定着と個性の伸長を図る。	少人数指導講師の配置(30人超で複数学級を設置することとした小学校に配置)
知能検査・学力検査実施事業	児童・生徒の学力水準を診断・分析するとともに、全国・県内との比較をし、学力向上を図る。	学力検査の実施
特別支援教育支援員配置事業	特別な支援が必要な児童生徒の学校生活を支援するため特別支援教育支援員を配置し、学校生活での安全確保や学習活動上のサポートを行う。	特別支援教育支援員を配置
ことばの教室運営事業	盛小学校、越喜来小学校に「ことばの教室」を開設し、通級指導によることばの改善を図る。	ことばの教室指導及び検査
外国青年招致事業	中学生の英語指導のほか、児童・生徒の英会話等コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進を図る。	外国語指導助手(ALT)による中学生の英語指導や小学校外国語活動支援 等
各種研修会	教職員の研修意欲を高め、自己教育力の育成と個性を生かす教育を推進する。	研究指定校の公開、教職員研修会、研究主任会議 等

(3) 豊かで強い心の育成

事業名	事業目的	事業内容
緊急スクールカウンセラー等派遣事業	児童生徒等の心のケア、教職員や保護者等への助言等を行うため、スクールカウンセラーを学校へ派遣するなど、教育相談・支援体制を整える。	各学校でのスクールカウンセラーによる児童・生徒等への指導助言、カウンセリング
教育相談員配置事業	学校、家庭、関係機関と連携し、不登校等の長期欠席者や問題行動のある児童・生徒や保護者への指導・助言などを行う。	教育相談室の設置、児童生徒や保護者の相談・助言対応、学校訪問 等
心の教室相談員配置事業	中学生が抱える心の悩みに適切に対処する。	生徒の相談・助言対応、学校との連携対応 等
キャリア教育	職場体験などを通じ、多様な職業と役割について理解を深め、働く意義や将来について考える一助とする。	キャリアチャレンジデイ、職場体験学習 等
ボランティア教育の推進	地域に生きる実践的な態度の育成を図る。	各学校におけるボランティア教育の推進
生徒指導の充実	教職員が組織的に児童・生徒の悩みや問題行動に対応し、問題の未然防止と健全育成を図る。	学校警察連絡協議会の開催 生徒指導研究委員会、いじめ対策連絡協議会の開催及び街頭指導活動 等

(4) たくましく健やかな体の育成

事業名	事業目的	事業内容
小中学校体育文化活動 大会出場費補助事業	体育・文化活動における全国大会、東北大会、県大会出場に係る経費の負担軽減を図る。	大会等出場経費(旅費)の一部を補助
学校給食事業	児童生徒が健康でたくましく成長できるよう、安全でおいしく、栄養バランスがとれた学校給食を提供する。	学校給食の提供。(小学校 182 日、中学校 180 日程度実施)
児童生徒各種健康診断 事業	各学校に学校医等を配置し、児童・生徒の適切な健康管理の推進を図る。	各種検診(各定期健康診断、尿検査、寄生虫卵検査、心臓検診、生活習慣病検診)
学校保健会運営支援事業	学校保健の改善及び向上を図るため、学校保健会への運営費を補助する。	学校保健会への運営費の一部を補助
各種研修会	児童・生徒の健康教育、安全管理に関する資質向上を図る。	養護教諭研修会の開催 栄養職員研修会の開催

(5) 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

事業名	事業目的	事業内容
地域ぐるみの学校安全 体制整備推進事業	スクールガード・リーダーの配置により、児童生徒の登下校時の安全の確保を図る。	スクールガード・リーダーの配置
「総合的な学習の時間」 推進事業	伝承活動、地場産業、勤労体験学習などにおける地域講師の派遣を支援し、地域に根ざした特色ある教育活動を推進する。	体験学習講師謝礼
学校評議員配置事業	保護者、地域の意見・要望を踏まえた学校経営の推進を図る。	学校評議員の委嘱

小学校・中学校の教育目標等

小学校 11校

盛 小学校
大 船 渡 小学校
末 崎 小学校
赤 崎 小学校
猪 川 小学校
立 根 小学校
日 頃 市 小学校
大船渡北 小学校
綾 里 小学校
越 喜 来 小学校
吉 浜 小学校

中学校 5校

第 一 中学校
大 船 渡 中学校
末 崎 中学校
赤 崎 中学校
綾 里 中学校

●特色ある教育活動

1 防災・復興教育

「1000年後まで伝えよう！東日本大震災のこと」というテーマのもと、
防災・復興教育に取り組んでいる。

- ①地域の歴史、地域の環境や史跡などを活用した教育活動
- ②クロスロードゲームによる災害時の判断力育成
- ③文化祭での津波演劇の上演

2 小中・地域と連携した教育活動

- ①学区連携の授業研究会
- ②地域の協力による漁業体験
- ③地域の伝統行事への協力(スネカ)



さかり
盛 小学校

所在地／〒022-0003 大船渡市盛町字沢川 30

T E L／0192-26-3624 F A X／0192-26-5512

校 長／大和田 典明 児童数／121 名

副校長／村上 千賀子 教職員数／ 19 名



●主な沿革

明治 6 年 3 月 田茂山小学校として発足
明治 13 年 6 月 新校舎を建築
明治 17 年 気仙教員予備学校を併設
明治 20 年 4 月 猪川小学校と合併し、盛尋常小学校となる
明治 30 年 4 月 盛町外五ヶ村立盛高等小学校となる
明治 42 年 4 月 盛町立尋常高等小学校となる
大正 10 年 4 月 女子職業補習学校の設置
昭和 5 年 8 月 新校舎の竣工
昭和 16 年 4 月 盛国民学校と改称
昭和 22 年 4 月 盛小学校と改称
昭和 29 年 4 月 特殊学級(精薄)の設置
昭和 39 年 4 月 完全給食の実施
昭和 44 年 4 月 校舎の新築、移転
昭和 47 年 4 月 特殊学級(言語障害)の設置
昭和 51 年 4 月 特殊学級(難聴)の設置
昭和 57 年 4 月 特殊学級(情緒障害)の設置
平成 7 年 12 月 体育館外壁・床塗装工事の竣工
平成 9 年 1 月 コンピュータ室の設置
平成 14 年 9 月 校内LAN設置
平成 18 年 4 月 特殊学級(肢体不自由)を設置
放課後児童クラブの開設
平成 21 年 3 月 給食室を閉鎖する
平成 21 年 7 月 西・東校舎の解体
校舎建設工事着工
平成 22 年 3 月 I 期工事竣工、新校舎(特別教室等除く)へ引越
平成 22 年 10 月 II 期工事竣工
平成 23 年 3 月 東日本大震災により学校が避難所となる
平成 23 年 7 月 校庭に応急仮設住宅設置
平成 25 年 5 月 プール改修工事終了
平成 28 年 6 月 体育館耐震工事完了
平成 28 年 9 月 仮設住宅撤去完了
平成 28 年 11 月 校庭復旧工事完了
平成 31 年 2 月 体育館 LED 照明改修工事完了
令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

【基本目標】

自ら学ぶ、心豊かなたくましい子ども

【具体目標】

- すすんで勉強する子ども
- 思いやりのある子ども
- 心も体もたくましい子ども

●経営の方針

- 1 一人ひとりのよさと可能性を生かした教育活動の展開
- 2 人間的なふれあいを大切にした学級経営の充実
- 3 指導力の向上と互いに協力し合い、円滑に機能する組織体の構築
- 4 家庭や地域との連携の強化
- 5 復興教育・防災教育の推進

●特色ある教育活動

- 1 ふるさとかがやき学習
三陸鉄道を利用した震災学習に取り組み、自然災害への心構え、復興の様子、自らの生き方などを学んでいる。また、地域の商店街で行うマラソン大会、地域の歴史や文化を学ぶ学習など、地域の教育力を生かし、郷土愛を育む学習に力を入れている。
- 2 ボランティア活動
J R C 活動の一環として、地域クリーン活動、書き損じ葉書回収、各種募金、思いやりの花の掲示などの奉仕活動に取り組んでいる。
- 3 異年齢集団活動
集団登校や縦割り班活動(清掃活動・読み聞かせ活動・縄跳び)を行い、リーダーの養成や仲間意識の向上を図っている。
- 4 あいさつ運動
学校・家庭・地域が一体となってあいさつ運動に取り組んでいる。
- 5 課外活動の充実
陸上競技部、金管バンド部を組織し練習に取り組んでいる。大会参加や発表会出演を通し、個の能力を伸ばす取り組みを行っている。



おおふなと
大船渡小学校



所在地／〒022-0002 大船渡市大船渡町字笹崎 67
T E L／0192-26-3524 F A X／0192-26-3623
校 長／三浦 和人 児童数／139 名
副校長／山本 一行 教職員数／16 名

●**主な沿革**

明治 6 年 7 月 大船渡学校の創立
明治 7 年 8 月 下船渡学校の創立
明治 19 年 5 月 両校統合して、大船渡尋常小学校に改称、現在地に移転
明治 31 年 9 月 平屋建てまき葺きの校舎新築
明治 45 年 4 月 高等科併設、大船渡尋常高等小学校と改称
大正 12 年 5 月 校地・校庭拡張、木造2階建校舎の新築
昭和 16 年 4 月 大船渡国民学校と改称
昭和 22 年 4 月 大船渡小学校と改称
昭和 27 年 4 月 市立大船渡小学校と改称
昭和 33 年 3 月 鉄骨屋内体育館の竣工
昭和 40 年 3 月 鉄筋コンクリート3階建18教室を増築
昭和 43 年 1 月 完全給食の実施
昭和 48 年 4 月 同校の二校分離を決定
昭和 48 年 11 月 大船渡小学校百周年記念式典
昭和 49 年 3 月 大船渡北小学校が分離独立
平成 9 年 8 月 耐震補強工事の竣工
コンピュータ室の設置
平成 10 年 3 月 東側校舎改築工事の竣工
平成 12 年 5 月 コンピュータ室インターネット接続
平成 15 年 12 月 新プールの完成
平成 20 年 2 月 新屋内運動場の竣工
平成 22 年 2 月 給食配膳室の完成
平成 23 年 3 月 東日本大震災により校舎1階部分が被災
平成 24 年 3 月 校舎1階・プール復旧工事完了
平成 26 年 9 月 交通安全優良学校賞を受賞
平成 27 年 8 月 トイレ洋式化工事実施
平成 28 年 7 月 緊急避難路フェンス出入口設置
平成 28 年 11 月 仙台国税局長表彰を受賞
平成 29 年 11 月 岩手県道徳研究大会開催
平成 30 年 8 月 緊急避難階段設置
令和 2 年 2 月 普通教室・特別教室等エアコン設置

【校 訓】 明るく・正しく・強く

●**学校教育目標**

豊かな心を持ち、学びを生かし、たくましく社会
とかかわる子どもの育成

●**目指す児童像**

思いやる【徳:誠実】

- 1 自分と相手を大切にできる児童
- 2 あいさつ・返事ができる児童
- 3 よりよいものに感動できる児童

考える【知:勤勉】

- 1 学ぶ意欲を高め、学習に取り組む児童
- 2 基礎的・基本的力の定着した児童
- 3 自分の考えを相手と伝え合うことのできる児童

鍛える【体:健康】

- 1 進んで健康増進する児童
- 2 目標を持ち、体力作りに取り組む児童
- 3 安全に関する配慮して生活ができる児童

●**学校教育展開の重点**

- 1 カリキュラムマネジメントの確立
- 2 子どもの伝える(合う)力の充実
- 3 対話から成長へ導く教師力の充実



まっさき
末崎小学校

所在地／〒022-0001 大船渡市末崎町字山岸 122
T E L／0192-29-3928 F A X／0192-29-3937
校 長／小石 敦子 児童数／141 名
副校長／須藤 研一 教職員数／18 名



●主な沿革

明治 6 年 11 月 末崎小学校の創立(本校小細浦・分校泊里)
明治 20 年 4 月 村立末崎尋常小学校(本・分校併合)と改称
明治 42 年 4 月 村立末崎尋常高等小学校となる
大正 7 年 2 月 校舎焼失
大正 9 年 10 月 新校舎が落成し移転
昭和 16 年 4 月 村立末崎国民学校と改称
昭和 22 年 4 月 村立末崎小学校と改称
昭和 27 年 4 月 市立末崎小学校と改称
昭和 35 年 1 月 体育館兼講堂の新築落成
昭和 37 年 5 月 完全給食の実施
昭和 47 年 2 月 鉄筋三階建新校舎が竣工移転
昭和 47 年 6 月 教育の森自然公園の設定
昭和 48 年 8 月 学校水泳プールの竣工
平成 3 年 10 月 生活科学学校公開研究会開催(県教育委員会指定)
平成 10 年 8 月 コンピュータ教室の設置
平成 12 年 5 月 第 50 回こいのぼり大運動会開催
平成 15 年 3 月 屋内運動場の竣工
平成 16 年 8 月 コンピュータ校内 LAN の設置
平成 17 年 4 月 校舎 1 階に学童保育の開設
平成 17 年 10 月 算数科学学校公開研究(市教育委員会指定)の実施
平成 22 年 8 月 県自転車大会優勝
平成 23 年 3 月 東日本大震災により体育館が避難所となる
平成 23 年 5 月 校庭に応急仮設住宅設置
平成 26 年 1 月 交通安全優良校として全国表彰
平成 28 年 9 月 校庭の応急仮設住宅撤去
平成 28 年 11 月 校庭の使用再開
平成 29 年 9 月 算数授業交流会開催(市教育委員会指定)
令和 2 年 2 月 エアコン設置
令和 2 年 3 月 校舎周辺の道路(ラウンドアバウト方式)と学校への専用道路完成

●教育目標

【学校教育目標】

- 明るく思いやりのある子ども
- 自分で考えやり抜く子ども
- 強くたくましい子ども

●経営の方針

- 1 全職員が参画する学校経営による教育活動の推進
- 2 家庭・地域・学校の一層の連携と協働の推進
- 3 温かい学級経営を基盤とする豊かな心、深い学び、健康・体力の向上
- 4 復興教育の力強い推進
- 5 特別支援教育の推進

●特色ある教育活動

- 1 地域と関わりのある活動
春の運動会で踊る「末小ソーラン」は、敬老会、町民文化祭など地域行事でも披露している。また、末崎防犯協会の方々を招待しての「防犯水泳大会」や防犯標語コンクール。学習発表会には、地域の吟詠会の方々から指導を受け詩吟の発表をしている。(令和 2 年度の運動会は秋開催)
- 2 ボランティア活動
児童会活動の一環として、アルミ缶回収、椿の実集め、書き損じはがき集め、また赤い羽根共同募金などを通して社会福祉に貢献している。
- 3 安全教育活動
毎年 4 月初めに交通安全ダルマの目入れ式を地域の方々(交通指導員・交通安全協会)と行い、一年間の無事故を誓い合っている。登下校の津波避難訓練も行い、子ども達の自主的判断力、行動力を育てている。
- 4 保・小・中連携活動
保育園との交流は 1 年生が行い、中学生とは年 2 回の授業参観と話し合いをしている。また、小中合同の PTA 事業を数多く行っている。



あかさき
赤崎小学校

所在地／〒022-0007 大船渡市赤崎町字山口 8-4
T E L／0192-26-3625 F A X／0192-26-3676
校 長／細川 佳紀 児童数／ 121 名
副校長／坂井 ふき子 教職員数／ 17 名



●主な沿革

明治 6 年 8 月 赤崎小学校創立
明治 41 年 4 月 赤崎・佐野小学校を合併して赤崎尋常小学校と改称
昭和 15 年 10 月 校舎の新築
昭和 27 年 4 月 市立赤崎小学校と改称
昭和 35 年 5 月 チリ地震津波で校舎階下の廊下床上浸水
昭和 38 年 7 月 完全給食の実施
昭和 48 年 11 月 石組庭園の造成
昭和 54 年 3 月 鉄筋コンクリート三階建校舎落成
平成 6 年 4 月 特殊学級の設置
平成 10 年 9 月 コンピュータ室の設置
平成 15 年 11 月 気仙地区道德教育研究会学校公開
平成 17 年 4 月 特殊学級の設置
平成 17 年 11 月 赤崎給食共同調理場の設置
平成 19 年 4 月 学童保育クラブの隣接開所
平成 23 年 3 月 東日本大震災のため校舎が全壊
平成 23 年 4 月 蛸ノ浦小学校校舎で授業再開
平成 25 年 5 月 運動会で「赤小ソーラン」復活
平成 26 年 9 月 旧赤崎小学校及び蛸ノ浦小学校のPTA総会で統合推進を決議
平成 28 年 8 月 新校名「赤崎小学校」に決定
平成 28 年 11 月 新校章決定
平成 29 年 3 月 旧赤崎小学校・蛸ノ浦小学校閉校式
平成 29 年 4 月 開校式 新校舎落成式
令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

【学校教育目標】

「知・徳・体」を鍛え未来を拓く人間性豊かな
子どもの育成

【具体目標】

- 考 え る (知：勤勉)
- 思 いや る (徳：誠実)
- き た え る (体：健康)

●経営の方針

教職員一人一人が地域や学校の教育環境を最大限に活用し、創意工夫を図りながら、生き生きとした教育活動を展開し、教育目標の具現化に努める。

- (1) 学習指導要領に則り、児童の学習意欲を高め、基礎的・基本的学習内容の確実な定着と「活用する力」(思考力、判断力、表現力)の向上を図る。
- (2) 児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導とともに「主体的で、対話的な深い学び」の実践を進め、授業改善に努める。
- (3) 児童一人一人に「生きる力」を育成するために、体験的活動や課題解決的学習を積極的に取り入れる。
- (4) 児童が明るく元気に学校生活をおくるために、Q U の活用、いじめアンケートの分析、教育相談の充実、SC との連携・協力を密にし、生徒指導と心のケアに努める。
- (5) 教育公務員としての職責を自覚し、厳正な服務と自己研修、コンプライアンスの遵守相互の啓発に励み、資質の向上を図る。
- (6) 児童・保護者・地域から信頼される学校を目途に、保護者・地域住民への情報提供や連携・協力を緊密に行い、開かれた学校づくりを推進する。
- (7) 自他の生命を大切にし、社会(復興)に役立つ「人」を育成するため、復興教育を推進する。

●特色ある教育活動

1 教育課程

- (1) 子どもが主体となる輝く教育課程の創造と運営
- (2) 基礎的・基本的な事項の定着と、健康・体力の向上
- (3) 復興・防災教育・安全教育の充実

2 地域に根ざした総合的な学習の展開

- (1) 地元漁協の協力を得た地域産業学習
- (2) 福祉・ボランティア学習の充実

3 被災校としての復興教育の充実

- (1) 地域を知り、誇りを持つための教育活動
- (2) 様々な支援に対する感謝を示す教育活動



いかわ 猪川小学校

所在地／〒022-0004 大船渡市猪川町字轆轤石 23
T E L／0192-26-3628 F A X／0192-26-2330
校 長／西條 剛志 児童数／298 名
副校長／市村 かおり 教職員数／27 名



●主な沿革

明治 6 年 8 月 猪川村下権現堂46に猪川小学校を設置
明治 18 年 現在地(轆轤石 23)に移転
明治 20 年 4 月 盛尋常小学校分教場となる
明治 22 年 4 月 盛村と分離し、猪川簡易小学校と改称
明治 25 年 4 月 猪川尋常小学校と改称
明治 36 年 12 月 校舎の新築
大正 7 年 4 月 村立農業補習学校を併設
昭和 2 年 10 月 校舎・講堂兼雨天体操場の新築
昭和 16 年 4 月 国民学校令により猪川国民学校と改称
昭和 22 年 4 月 学校教育法により猪川小学校と改称し、猪川中学校を併設
昭和 26 年 4 月 猪川中学校を分離
昭和 27 年 4 月 市立猪川小学校と改称
昭和 40 年 2 月 完全給食の実施
昭和 46 年 7 月 プール竣工
昭和 51 年 12 月 体育館を新築
昭和 54 年 3 月 校舎改築工事が竣工
昭和 56 年 11 月 第2校舎増築工事が竣工
平成 9 年 2 月 コンピュータ室の設置
平成 18 年 8 月 県 PTA 連合会団体表彰を受賞
平成 21 年 1 月 県学校給食調理コンクール
県学校給食会会長賞を受賞
平成 23 年 3 月 東日本大震災により体育館が避難所となる
平成 23 年 7 月 校庭に応急仮設住宅設置入居開始
平成 26 年 5 月 北部給食センターより配食開始
平成 28 年 6 月 体育館、耐震化工事完了
校庭の仮設住居解体・撤去
11 月 校庭利用再開
平成 30 年 10 月 体育館外トイレ水洗化
令和 元年 11 月 第 51 回岩手県理科教育研究大会
気仙大会開催
令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

- かしくく (進んで勉強する子ども)
- ゆたかに (思いやりのある子ども)
- たくましく (心も体もたくましい子ども)

●学校経営の方針

『目標達成型の経営で活性化する学校』

- 1 学校教育の中心に子どもを据え、一人一人を大切にする教育活動を展開する。計画・実践に際しては、可能な限り達成目標を数値で示し、意識化を図るとともに、評価と反省を充実させ教育課程の改善・充実に努める

- 2 新学習指導要領の各教科の訂正内容を確認し、実践するとともに評価・反省を加え、教育課程の完全実施に努める。
- 3 人権教育並びにキャリア教育・国際理解教育のねらいを意識化させ、教育活動を展開し、一人一人の個性を尊重するとともに、共感的態度と寛容な心の育成に努める
- 4 体験を通して「楽しい授業」「わかる授業」「できる喜び」を体得させることにより基礎的・基本的事項の習得を図るとともに、児童の興味・関心を引き出したり、児童の発想や着眼点を生かし体系化・類型化・一般化したりするなど、心豊かな人間性の育成に努める
- 5 学校や子どもの実践を踏まえ、保護者や地域と協力し、重点化を図った目標達成型の学校経営を推進する
- 6 危機管理意識の高揚を図り、特にリスクマネジメント(未然防止)に努める
- 7 教育専門職としての力量向上のため、研鑽に励むとともに互いに協力し合い組織体として円滑に機能するよう努め、明るく活気のある職場づくりに努める
- 8 基本的生活習慣の定着に努め、更に積極的な生徒指導を推進することにより、自主的・自立的態度の育成を図る
- 9 特別支援教育の充実や適正な就学指導を推進し、個に応じた指導を充実させる
- 10 地域の実情を加味し、子ども達の心に寄り添った復興教育を推進していく
- 11 教育環境の改善・向上、施設設備の充実に努め、明るく楽しい学校の実現に努める
- 12 開かれた学校づくりをめざして、保護者・地域社会・関係機関との連携強化を図ると共に教科指導はもとより、学校行事や「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間」「クラブ」等の場面で、積極的に地域の人材活用を図っていく

●本年度の学校経営の重点

- 1 新学習指導要領改訂の趣旨を生かし、学習指導の充実を図るとともに基礎・基本の定着に努め、更なる学力向上に努める
- 2 体験活動を通し、自他の取組を的確に振り返らせながら、豊かな心を育てる
- 3 体力の向上に取り組み健康の増進に努め、自他の生命を尊重する態度を培う
- 4 保護者・地域と連携し、教育環境の整備・充実に努め、次世代を担う人づくりに努める



たっこん
立根小学校

所在地／〒022-0006 大船渡市立根町字上ノ台 19-2

T E L／0192-26-3627 F A X／0192-26-3661

校 長／千田 晃一 児童数／198 名

副校長／今野 百合香 教職員数／23 名



●主な沿革

明治 6 年	立根小学校を設置
明治 20 年	立根村尋常小学校と改称
大正 12 年	村立立根尋常小学校と改称し高等科併設
昭和 16 年	村立立根国民学校と改称
昭和 22 年	村立立根小学校と改称
昭和 27 年	市立立根小学校と改称
昭和 34 年	全校舎移転工事並びに校庭拡張工事完成
昭和 40 年	完全給食の実施
昭和 47 年	県立大船渡農業高校校舎跡に移転(立根町字上ノ台 21)
平成 3 年	本校舎改築工事の竣工、移転 コンピュータ室の設置
平成 4 年	給食調理場の新築
平成 5 年	屋内運動場・プール改築工事完了、 校庭遊具設置
平成 17 年	立根学校給食共同調理場となる 学校評議員の委嘱(5 人)
平成 20 年	いわてコミュニティ・スクール推進事業の実施(～21 年)
平成 23 年	東日本大震災により避難場所、自衛隊の炊出し場所、支援物資置場(8 月まで)となる
平成 25 年	給食室を民間会社が経営 大船渡市教育委員会指定「授業交流会」(国語)
平成 26 年	2 学期から北部給食センターから給食配送実施
平成 30 年	ジャングルジム・うんてい 遊具設置
令和 元年	大船渡市教育委員会指定「授業交流会」(算数)
令和 2 年	エアコン設置

●教育目標

- 1 たくましい子
 - (1) 健康や安全に気をつけ、進んで体を鍛える子
 - (2) 友達と協力し合い、進んで働く子
 - (3) めあてをもって、最後までやりぬく子
- 2 考える子
 - (1) 学習の仕方を身につけ、積極的に取り組む子

- (2) 人の話をよく聞き、自分の考えを話す子
- (3) 善悪を判断し、公平・公正に行動する子

3 やさしい子

- (1) きまりを守り、仲良く助け合う子
- (2) 相手を尊重し、認めあう子
- (3) 誰にでも明るく接し、あいさつする子

●経営の方針

- 1 「楽しい授業」、「わかる授業」の実践に努め、基礎的・基本的事項の習得、表現力の育成及び学習意欲の向上を図る。
- 2 特別の教科道德の趣旨・内容等を踏まえた指導の充実に努める。
- 3 外国語活動及び外国語科の目標を踏まえ、指導と評価の充実に努める。
- 4 体育科の授業改善及び計画的・継続的な体力づくりにより、運動の習慣化を図る。
- 5 心身の健康に関する指導及び安全に関する指導の充実に努める。
- 6 基本的生活習慣の定着に努め、更に積極的な生徒指導を推進することにより、自主的・自立的態度の成を図る。
- 7 いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めるとともに、教育相談体制の充実に努める。
- 8 児童の実態を踏まえ、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。
- 9 安全・安心な学習の場を提供するため、教育環境の改善・向上、施設設備の充実に努める。
- 10 家庭や地域との連携・協働による教育を推進する。

●特色ある教育活動

- 1 気仙光陵支援学校との交流
心身に障がいがかかえる児童を正しく理解し、温かく接することができる児童を育てる。
- 2 伝統芸能の伝承活動
ふるさとに伝わる川原鎧剣舞を引き継ぐことで、立根のよさを見つめ、剣舞を学び伝えようとする意識を持たせる。
- 3 仲良し班活動
異学年の友達同士とのふれあいの時間を作り、共に助け合い、協力し合う心を育てる。



ひころいち
日頃市小学校

所在地／〒022-0005 大船渡市日頃市町字関谷 48
T E L／0192-28-2301 F A X／0192-28-2180
校 長／菊池 ゆかり 児童数／ 71 名
副校長／瀬川 貴光 教職員数／ 15 名



●主な沿革

明治 7 年 6 月 関谷小学校と小通小学校の 2 校が創立
明治12年 4 月 関谷小学校が公立日頃市小学校と改称
明治19年 4 月 日頃市尋常小学校、小通・田代屋敷簡易小学校と改称
明治25年 4 月 村立日頃市尋常小学校と改称
明治41年 3 月 小通・田代屋敷が分教場となる
明治43年 5 月 関谷に校舎新築(三校統合)
日頃市村立実業補習学校附設
大正10年 3 月 高等科を併設、村立日頃市尋常高等小学校と改称
昭和 7 年11月 関谷に校舎新築
昭和16年 4 月 日頃市国民学校と改称
昭和22年 4 月 日頃市小学校と改称
昭和27年 4 月 大船渡市立日頃市小学校と改称
昭和42年 4 月 日頃市小中学校給食共同調理場完成、完全給食の実施
昭和55年 3 月 校舎全面改築工事の落成
平成 9 年 8 月 コンピュータ室の設置
平成13年11月 文部科学省指定道徳教育体験活動推進事業公開研究発表会の実施
平成14年 4 月 バックネットの新設
平成15年 9 月 コンピュータ校内整備完了
平成17年10月 日頃市小中学校給食共同調理場の閉鎖(立根小学校給食共同調理場より給食搬入)
平成22年 5 月 日頃市小中学校合同運動会実施
平成23年 3 月 東日本大震災により警察の宿営場所となる
平成25年11月 大船渡市授業交流会開催(国語)
平成28年 2 月 各階一部個室トイレの洋式化
平成28年 9 月 校舎・体育館耐震化工事完了
平成30年11月 外トイレ簡易水洗化
令和 元年11月 大船渡市授業交流会開催(国語)
令和 2 年 2 月 エアコン設置完了

●教育目標

- よく考え学ぶ子
- 思いやりをもち尽くす子
- 心と体を鍛える子

●経営の方針

本校の歴史や伝統、地域の実態を考慮しながら創意工夫を図り、これからの時代を力強く生きていく力を身につけた児童の育成に努める。

〈目指す学校像〉

- 学ぶ喜びやふれ合う喜びのある楽しい学校
- 掃除や環境整備が行き届き、気持ちよく美しい学校
- 生き生きと活動し、活力のある明るい学校
- 家庭や地域から信頼される学校

●特色ある教育活動

- 1 確かな学力の定着
 - わかる授業の実践と基礎的・基本的内容の確実な習得
 - 反復タイム、漢字・算数テスト、音読による学習の基盤となる力の定着
 - 思考力・表現力を育てる作品応募への取組
- 2 豊かな心の育成
 - 気持ちのよいあいさつや返事・清掃の習慣化
 - 縦割り班によるリーダー性や協力する態度の育成
 - 読書活動の推進
- 3 健康・安全・体力づくり
 - むし歯などの予防と早期治療の勧め
 - 防災教育などの安全教育の取組
 - マラソンや縄跳びなど、年間を通しての体力づくり
 - 全校児童欠席 0 の日、100 日の達成
- 4 開かれた学校づくり
 - 校報や学級通信等による学校活動の紹介
 - 地域の講師による農業体験や伝統芸能の継続



おおふなときた

大船渡北小学校



所在地／〒022-0002 大船渡市大船渡町字山馬越 68-2

T E L／0192-27-7107

F A X／0192-27-9400

校 長／佐々木一義

児童数／119 名

副校長／今野 忠頼

教職員数／ 18 名

●主な沿革

- 昭和 49 年 4 月 大船渡小学校から分離独立
- 昭和 49 年 11 月 校舎竣工、大船渡小学校仮校舎より新校舎に移転
- 昭和 50 年 3 月 校歌、校章の制定
- 昭和 50 年 8 月 完全給食開始
- 昭和 51 年 2 月 体育館竣工
- 昭和 51 年 7 月 プール竣工
- 昭和 51 年 11 月 落成式挙行
- 昭和 52 年 11 月 学校公開(県特別活動研究大会)
- 昭和 55 年 10 月 校門・校歌歌碑設置
- 昭和 56 年 10 月 学校公開(県学校図書館研究大会)
- 昭和 63 年 10 月 学校公開(県国語教育研究大会)
- 平成 元年 10 月 「子ども協同組合」大蔵大臣・日本銀行総裁表彰受賞
- 平成 4 年 11 月 学校公開(県社会科研究大会)
- 平成 7 年 10 月 学校公開(市教委指定 国語科)
- 平成 9 年 8 月 コンピュータ・児童用 20 台設置
- 平成 13 年 4 月 学童保育所、南校舎 1 階に開設
- 平成 14 年 11 月 学校公開(県・市指定国際理解教育)
- 平成 15 年 10 月 パソコン設備更新、LAN 設備
- 平成 20 年 10 月 給食室改修開始(3 月まで)
- 平成 21 年 4 月 大船渡北学校共同調理場開設
- 平成 22 年 11 月 特別基金により競技用砂場完成
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災により体育館が避難所(8 月まで)
- 平成 23 年 5 月 東日本大震災により校庭仮設住宅(88 戸)
- 平成 28 年 3 月 校舎内トイレ改修工事(洋式設置)
- 平成 28 年 3 月 学校施設耐震改修工事(9 月まで)
- 平成 28 年 7 月 山馬越仮設住宅解体(9 月まで)
- 平成 28 年 12 月 整地により校庭使用開始
- 平成 29 年 5 月 7 年振り運動会自校開催
- 平成 29 年 9 月 市教委指定「授業交流会」開催
- 平成 30 年 1 月 遊具設置(ブランコ・滑り台等)
- 令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

人間性豊かでひとりだちのできる子ども

- よく考える子
- 思いやりのある子
- じょうぶな子

●経営方針

- 1 全教職員の協働を推進し、学校教育目標の具現化を図る。
- 2 「知・徳・体」の調和のとれた教育課程を編成する。
- 3 学級経営の充実をとおして、温かな人間関係の醸成を図る。
- 4 復興教育、安全教育をとおして、生命尊重・郷土愛の心を育む。
- 5 地域の教育力を活かし、多様な教育活動を展開する。

●経営の重点

- 1 確かな学力の育成
 - ・基礎基本の定着
 - ・授業力の向上
 - ・授業改善の推進
 - ・学習支援の充実
 - ・読書意欲の高揚
- 2 豊かな人間性の育成
 - ・道徳教育の充実
 - ・人権教育の推進
 - ・教育相談の充実
 - ・体験活動の充実
- 3 健康・安全意識の醸成
 - ・復興教育(防災教育)の推進
 - ・学校安全の確かな推進
 - ・健やかな体の育成
 - ・健康教育の充実
- 4 家庭・地域との連携・協働
 - ・目標達成型の学校経営
 - ・信頼関係確立の取組
 - ・地域資源の活用
 - ・関係機関との連携

●特色ある教育活動

- 1 伝承活動「赤澤鎧剣舞」の伝承活動
- 2 ベルマーク回収による教育活動の充実



りょうり
綾里小学校



所在地／〒022-0211 大船渡市三陸町綾里字平館 21

T E L／0192-42-2100

F A X／0192-42-2105

校 長／熊谷 賢

児童数／92 名

副校長／紀室 尚子

教職員数／17 名

●主な沿革

明治 6 年 7 月 綾里小学校と称して創立
明治 19 年 4 月 綾里尋常小学校と改称
明治 29 年 6 月 三陸沿岸大津波により校舎流失
明治 30 年 5 月 綾里村平館 21 に校舎敷地変更
大正 3 年 8 月 校歌制定
大正 15 年 校舎新築移転
昭和 22 年 4 月 綾里村立綾里小学校と改称
綾里村立綾里中学校を併設
昭和 27 年 10 月 綾里中学校校舎落成移転
昭和 41 年 4 月 給食室竣工 完全給食実施
昭和 42 年 4 月 三陸町立綾里小学校と改称
昭和 46 年 8 月 プールの落成
昭和 48 年 4 月 砂子浜小学校を実質統合
スクールバス運行
昭和 48 年 7 月 屋内体育館の落成
平成 10 年 3 月 新校舎の落成
平成 13 年 11 月 大船渡市立綾里小学校と改称
平成 17 年 7 月 プール改修の竣工
平成 17 年 12 月 県学校歯科保健優良校受賞
～平成 25 年 12 月まで連続受賞
平成 23 年 1 月 県学校環境衛生優良校受賞
平成 23 年 3 月 東日本大震災により校舎浸水、校庭・遊具が流失、プール・体育館が損壊
平成 24 年 3 月 体育館が復旧、遊具設置
平成 25 年 6 月 プール新設
平成 26 年 4 月 校庭整地
平成 29 年 2 月 体育館耐震化工事完了
平成 30 年 1 月 県学校歯科保健「優良校」表彰
平成 31 年 1 月 県学校歯科保健「優良校」表彰
令和 元年 12 月 県学校歯科保健「優秀校」表彰
令和 2 年 2 月 エアコン設置工事完了

●教育目標

【総合目標】

「自ら学ぶ、心豊かなたくましい子どもの育成」

【基本目標】

考える子ども やさしい子ども 元気な子ども

●経営の重点

1 学習指導の充実と学力の向上

- (1) 基礎・基本の定着と活用力の伸長
- (2) 校内研究を軸とした教員の学び合いと指導力の向上
- (3) 全職員の理解と協働による特別支援教育
- (4) 読書活動の推進

2 豊かな人間性をはぐくむ道徳科・生徒指導・特別活動の充実

- (1) 各教科における道徳教育で養われた道徳性を調和的に生かした道徳科を計画的、発展的に行い、児童の道徳性をいっそう豊かに養う。
- (2) 基本的生活習慣や規範意識を育てる生徒指導の充実
- (3) 自己表現力とかかわる力の伸長を図る特別活動
- (4) いじめ防止と心のサポートへのきめ細かな取組

3 健康・安全指導の充実と体力の向上

- (1) 自分の健康への関心・理解と、自己管理能力の向上
- (2) 子どもの歯を守る会との連携による、歯磨き指導・う歯治療の推進
- (3) 命の尊厳・親や先祖への感謝を実感できる計画的な性指導の推進
- (4) 年間を通した運動量の確保による体力増進と肥満の改善
- (5) 正しい食習慣と楽しく安全な学校給食の推進
- (6) 交通量・工事車両の増加に伴う安全な道路歩行・自転車利用の徹底

4 いわての復興教育の理念に基づいたキャリア教育、防災教育等の実践的な推進

- (1) 実践的なキャリア教育の推進
- (2) 復興教育副読本や地域人材の効果的な活用
- (3) 判断力・実践力を育てる計画的な防災教育の推進

5 保護者や地域とともに歩む学校の創造

- (1) 地域の信頼を得る開かれた学校
- (2) 笑顔と活気に溢れた職場の創造



おきらい
越喜来小学校

所在地／〒022-0101 大船渡市三陸町越喜来字小出 24-4

T E L／0192-44-2102

F A X／0192-44-3102

校 長／鈴木 直樹

児童数／ 81 名

副校長／小嶋 秀一

教職員数／ 18 名



●主な沿革

- 明治 6 年 崎浜小学校として開校する
甫嶺小学校として開校する
- 明治 10 年 浦浜小学校として開校する
～ 中略 ～
- 平成 13 年 5 月 大船渡市立越喜来小学校と改称
大船渡市立崎浜小学校と改称
大船渡市立甫嶺小学校と改称
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災の津波により越喜来小学校校舎全壊、強震のため崎浜小学校校舎被災
- 平成 23 年 4 月 甫嶺小学校の校舎にて越喜来小・崎浜小・甫嶺小の 3 校による合同授業を開始
- 平成 24 年 3 月 3 校合同で東日本大震災追悼「希望の花集会」を開催
- 平成 24 年 3 月 崎浜小学校、甫嶺小学校閉校
- 平成 24 年 4 月 越喜来小・崎浜小・甫嶺小の 3 校が統合し、大船渡市立越喜来小学校として開校
- 平成 25 年 1 月 岩手県学校歯科保健努力校受賞
- 平成 25 年 6 月 教育懇談会開催
- 平成 25 年 12 月 大船渡市交通安全大会学校優良校受賞
- 平成 27 年 7 月 新校舎建築工事安全祈願祭
- 平成 27 年 9 月 新校章決定
- 平成 28 年 4 月 新運動着選定
- 平成 28 年 10 月 新校舎竣工
- 平成 28 年 11 月 校歌・校章・校旗制定
新校舎落成式典・祝賀会
- 平成 29 年 9 月 落成記念誌完成
- 平成 31 年 4 月 情緒学級・難聴学級開設
- 令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

- かしく(知)
自分の考えをもって、意欲的に学ぶ子
- やさしく(徳)
思いやりや感謝の心をもち、誰とでも仲よくできる子
- たくましく(体)
明朗かつ心身ともに健康で、自立心のある子

●経営の方針

- (1) 基礎・基本の定着をはじめとする学習指導の充実を図る。
- (2) 基本的生活習慣を身につけ、社会性や協働性を育む生徒指導の充実を図る。
- (3) 命の大切さ、社会に貢献する尊さ、他者に感謝する心などを育てる復興教育の充実を図る。
- (4) 教職員一人ひとりが研鑽を積み、指導力の向上を図るとともに、協働の精神をもって職責を果たす。

●経営の重点

- (1) これから求められる「学力」を育てる授業改善
- (2) 基本的な生活習慣の形成と開発的な生徒指導の推進
- (3) 命を大切にすることを基盤にした復興教育(防災おきらいプラン)の推進
- (4) 新学習指導要領の完全実施
- (5) 健康・安全教育の充実と体力の向上
- (6) 開かれた学校づくりの推進

●特色ある教育活動

- 1 復興教育「おきらいプラン」の推進
 - (1) 災害についての理解と防災意識を高め、自分の命を守るために適切な行動ができる思考力、判断力、行動力を身に付ける。
 - (2) お互いに支えあう仲間や家族の大切さ、地域の方々や多くの支援に感謝する心を育成する。
- 2 郷土芸能伝承活動
 - (1) 浦浜・崎浜・甫嶺に伝わる郷土芸能を継承し、郷土を愛し、地域とともに成長する児童の育成と運動会での地域住民へ披露する。
- 3 全校児童での取り組み
 - (1) 縦割り班活動や児童会活動を通して、異学年との交流や親睦を深める。
 - (2) 全校合唱・合奏に取り組み、音楽を通して情操を養う。



よしなま
吉浜小学校

所在地／〒022-0102 大船渡市三陸町吉浜字扇洞 185

T E L／0192-45-2016

F A X／0192-43-7356

校 長／寺澤 貴裕

児童数／ 46 名

副校長／伊藤 雅江

教職員数／ 14 名



●主な沿革

明治 6 年 3 月 吉浜小学校として開校
明治 39 年 8 月 吉浜・根白の両小学校を合併し
吉浜尋常小学校を建設
大正 2 年 4 月 吉浜尋常高等小学校と改称
昭和 16 年 4 月 吉浜国民学校と改称
昭和 22 年 4 月 吉浜小学校と改称
昭和 31 年 4 月 大窪分校を創設
昭和 36 年 11 月 校歌制定
昭和 37 年 10 月 大窪分校閉校
昭和 41 年 3 月 本校舎・屋内体育館新築竣工
昭和 42 年 4 月 千歳分校を本校に統合
平成 9 年 1 月 校舎移転改築(扇洞 185 番地)
平成 11 年 11 月 三陸町指定国際理解教育(英語)
推進校公開
平成 12 年 12 月 才能開発実践教育賞受賞
平成 13 年 11 月 大船渡市立吉浜小学校と改称
平成 13 年 11 月 旧三陸町指定国際理解教育(英
語)推進校公開
平成 13 年 12 月 校舎・町民体育館間通路の完成
平成 14 年 10 月 交通安全模範校として市表彰受賞
平成 16 年 11 月 青少年赤十字加盟継続 15 年銀
色有功章を受賞
平成 18 年 1 月 大船渡市花いっぱいコンクール
学校の部最優秀賞の受賞
平成 19 年 3 月 新プールの完成
平成 19 年 11 月 県学校安全優良校受賞
平成 21 年 10 月 平成 20・21 年度文部科学省道徳
教育実践事業 気仙地区道徳教育
研究会指定学校公開(小・中連携)
平成 22 年 1 月 青少年赤十字加盟継続 20 年金
色有功章受賞
平成 23 年 4 月 特別支援学級設置
平成 24 年 1 月 県学校歯科保健優秀校表彰
平成 25 年 4 月 いわたの復興教育推進校指定
平成 26 年 4 月 大船渡市授業交流校指定
平成 27 年 1 月 県学校歯科保健優秀校表彰
平成 27 年 11 月 大船渡市授業交流会授業公開
平成 30 年 1 月 MOA 美術館文部科学大臣学校表彰受賞
平成 30 年 10 月 第 35 回海の子絵画展学校賞受賞
令和 元年 10 月 第 36 回海の子絵画展学校賞受賞
令和 2 年 2 月 エアコン設置

●教育目標

- 1 基本目標
たゆまず学び 心豊かに たくましく生きる子ども
- 2 具体目標(めざす子ども像)
 - よく考える子ども
 - 思いやりのある子ども
 - たくましい子ども

●経営の方針

- 1 全職員共通理解のもと、連携・協働で組織的に目
標達成や課題解決に取り組む
- 2 常に、目的意識や相手意識を持って教育活動に
あたる
- 3 実態や願いをもとに目標を明確にし、達成に向け
た具体的な取組を大切にする
- 4 認め・褒め・励ますことをとおして、児童の主体性
を伸ばす
- 5 特別な教育的配慮を必要とする児童については、
全校体制で指導にあたり、指導の充実を図る
- 6 家庭・地域との連携を密にし、目標を共有して協働
で具体的な指導にあたる

●経営の重点

- 1 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
- 2 特別支援教育の充実を図るために、「個別の指導計画」の
活用と「個別の教育支援計画」を作成し、支援を必要とする
児童への適切な指導を行う。
- 3 小規模・複式教育の充実をめざして、個に応じた指導と、
家庭・地域と連携・協力して教育活動を展開する。
- 4 「いわての復興教育」の推進を図るため、「いのちを大切
にし、自分の存在を認め必要とされる存在であることを認
識し、互いに助け合い、思いを寄せる仲間や地域とのかか
わりを大切にしたい」教育活動を計画的に推進する。
- 5 教育実践の場としての環境づくりの充実を図るため、学び
の場、指導の場としての環境づくりに努める。
- 6 社会に開かれた信頼される学校づくりの推進を「まなびフ
ェスト」を活用し、家庭・地域と図る

●特色ある教育活動

- 1 心豊かな子どもの育成
 - ・道徳教育の充実、あいさつの励行、読書の推進
- 2 豊かな体験活動
 - ・農業体験学習(米づくり、野菜栽培、ふるさと交流会)
 - ・吉浜の歴史や先人の知恵を学ぶ活動(吉浜探検)
 - ・縦割り班活動(清掃活動・縦割り遊び・縄跳び大会・
体力テスト等)での異年齢活動
- 3 ボランティア教育
 - ・青少年赤十字活動(奉仕・交流・募金・花植え・クリーン活動)
 - ・吉浜荘訪問
- 4 家庭・地域との連携
 - ・家庭学習強化週間(アウトメディア)
 - ・家庭読書の日
 - ・60 運動
 - ・郷土芸能吉浜鎧剣舞の継承活動
 - ・敬老はがき



だいいち 第一中学校

所在地／〒022-0006 大船渡市立根町字宮田 86

T E L／0192-26-3527 F A X／0192-26-3538

校 長／千葉 浩之 生徒数／424 名

副校長／紀室 浩 教職員数／43 名



●主な沿革

- 昭和 22 年 4 月 気仙郡盛町立盛中学校創立
猪川村立猪川中学校創立
立根村立立根中学校創立
- 昭和 25 年 3 月 盛中学校、猪川中学校を統合し
盛中学校とする
- 昭和 27 年 4 月 大船渡市立盛中学校、大船渡市
立立根中学校と改称
- 昭和 36 年 4 月 盛中学校、立根中学校を統合し
大船渡市立第一中学校を創立
- 昭和 37 年 11 月 新校舎が一部竣工
- 昭和 38 年 3 月 第二期工事(第一校舎)の竣工、
盛校舎、立根校舎を閉校
- 昭和 40 年 10 月 第四、第五期工事の完成
- 昭和 44 年 11 月 一中前橋の完成
- 昭和 49 年 12 月 完全給食の実施
- 昭和 63 年 3 月 第三校舎工事の竣工
- 平成 4 年 5 月 コンピュータ室の設置
- 平成 6 年 12 月 第一校舎大改修工事の竣工
- 平成 7 年 12 月 第二校舎大改修工事の竣工
- 平成 23 年 7 月 校庭に応急仮設住宅設置
- 平成 23 年 9 月 校舎耐震改修工事の竣工
- 平成 24 年 11 月 大震災の影響により 1 年遅れで
創立 50 周年記念式典を挙行
- 平成 26 年 4 月 仮設グラウンド竣工
- 平成 27 年 2 月 給食配膳室工事完成
- 平成 29 年 3 月 校庭仮設住宅撤去完了
- 平成 29 年 8 月 校庭復旧工事完了
- 令和 2 年 2 月 エアコン設置工事完了
- 令和 2 年 4 月 日頃市中学校、越喜来中学校、
吉浜中学校の編入統合

●教育目標

知育・徳育・体育の調和のある教育を通して、生きる力の育成を図るために、次の教育目標を設定する。

- 「心身ともに健康で情操豊かな生徒」
- 「強い意志を持ち、自ら学ぶ生徒」

- 「勤労を重んじ、進んで実践する生徒」
- 「協力し合い、責任を果たす生徒」
- 「親切で思いやりのある生徒」

●経営の方針

- (1) 知識の定着・活用を大事にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの指導の工夫・改善に努める。
- (2) 道徳教育・体験活動・充実した生徒指導等の活動をとおり、「思いやりの心」を育成する。
- (3) 地域社会の一員としての自覚をもって郷土・母校を愛する心を育成する。
- (4) 心身の健康の保持増進及び安全に関する指導の充実を図る。
- (5) 生命尊重を重視した安全・安心な環境づくりに努める。

●特色ある教育活動

- 1 確かな学力の育成
 - (1) わかる授業づくりの推進
 - ・いわての授業づくり3つの視点を生かす
 - (2) 指導工夫・改善による知識の確実な定着
 - ・主体的・対話的で深い学びの視点から
 - (3) 考え・議論する道徳の時間の推進
 - (4) 生徒会と連携した学力向上の取り組みの推進
 - ・一中杯等の実施
- 2 豊かな心の育成
 - (1) 活発な挨拶
 - (2) 合唱活動の活発化
 - (3) 郷土・母校愛を持つ生徒の育成
 - (4) 復興教育・防災教育の推進
 - ～子どもたちの「今」と「20 年後」を見つめて～
- 3 開かれた学校づくり
 - (1) 通信・一中ブログ等による保護者・地域への情報発信
 - (2) クラブ活動育成会との連携
 - (3) 学区内 6 小学校との連携
- 4 望ましい生徒会活動
 - (1) 交流・ボランティア：JRC 活動と「希望隊・希望新聞」の継続
 - (2) 生活：「服装・時間・挨拶」の向上
 - (3) 学習：「家庭学習」の提出率の向上
 - (4) 委員会：「見える委員会活動」の取組
 - (5) 合唱：「ホームルームソング・定期的な合唱活動」の取組
 - (6) 部活動：「健全な心身特技を育てる活動」の取組



おおふなと
大船渡中学校



所在地／〒022-0002 大船渡市大船渡町字永沢 94-1

T E L／0192-27-6850 F A X／0192-27-6852

校 長／石橋 和彦 生徒数／172 名

副校長／大越 淳 教職員数／ 33 名

●主な沿革

- 昭和 22 年 4 月 大船渡小学校に仮校舎を置き、大船渡中学校を開校
- 昭和 25 年 5 月 明神前に新校舎が完成
- 昭和 27 年 4 月 大船渡市立大船渡中学校と改称
- 昭和 44 年 4 月 完全給食の実施
- 昭和 59 年 4 月 永沢に鉄筋新校舎が完成
- 昭和 59 年 9 月 日本陸上競技連盟より第 5 種競技場として認定される
- 平成 10 年 9 月 コンピュータ室の設置
- 平成 11 年 11 月 県青少年育成県民会議より大船渡中学校郷土芸能保存会が表彰を受賞
- 平成 17 年 11 月 優良 PTA 文部科学大臣表彰を受賞
- 平成 22 年 3 月 大小側(北門)より大中学生通学路新設工事の竣工
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災により体育館が避難所となる
- 平成 23 年 5 月 校庭に応急仮設住宅設置
- 平成 25 年 12 月 バックネット照明設備完成
- 平成 27 年 7 月 太陽光発電・蓄電池設備設置
- 平成 28 年 12 月 オムニコート完成寄贈式
- 平成 29 年 8 月 校庭完全復旧
- 平成 30 年 8 月 校庭照明設備 2 基寄贈式
- 平成 31 年 3 月 外トイレ水洗化
- 令和 2 年 2 月 各教室エアコン設置

●教育目標

校訓『黒潮魂』 ～明るく、賢く、逞しく～

●学校教育目標

- (1) 自ら主体的に学び、進路を開拓しようとする生徒の育成
- (2) 思いやり、勤労・奉仕の心に満ちた生徒の育成
- (3) 健康で逞しい生徒の育成

●目指す生徒像

- (1) 自ら主体的に学び、進路を開拓しようとする生徒
- (2) 思いやり、勤労・奉仕の心に満ちた生徒
- (3) 心身の健康の増進を図る生徒

●経営の重点

- (1) 確かな学力の育成(主体的に学ぶ生徒の育成)
- (2) 感動の創造(夢や希望を育む活力ある文化の創造)
- (3) 豊かな人間性の育成(好ましい人間関係を育てる生徒指導と健康教育の推進)
- (4) 地域との連携推進(地域に開く大中)

●特色ある教育活動

- (1) 郷土芸能伝承活動
伝承活動の一環として、毎年文化祭に向けて、全校生徒から郷土芸能活動を希望する生徒を募り、地域郷土芸能保存会の方々から指導を受け活動している。練習は、大変厳しくその成果を文化祭時に発表した後は、生徒の顔に達成感と満足感が溢れる。
- (2) 全校読書活動
学校生活の一日の始まりに、落ち着いた気持ちで一日が過ごせるよう「全校一斉読書」を実施し、心の安定と豊かな心の育成に取り組んでいる。
- (3) 心の通う挨拶、心に響く合唱、心を磨く清掃
登下校時のさわやかな挨拶、生徒会の合唱委員会を中心とした全校合唱、様々な機会に発表する学年合唱には、子どもたちの素直な気持ちが表現されている。また、清掃時間を「磨きタイム」と称し、自分の気持ちに向き合う活動が定着されている。



まっさき
末崎中学校

所在地／〒022-0001 大船渡市末崎町字平林 72-13
T E L／0192-29-3926 F A X／0192-29-3966
校 長／村上 誠 生徒数／ 68 名
副校長／鈴木 雅史 教職員数／ 19 名



●主な沿革

昭和 22 年 4 月 村立末崎中学校を創立(末崎小学校に併設)
昭和 24 年 5 月 平林 72-3 に校舎が完成
昭和 27 年 4 月 大船渡市立末崎中学校と改称
昭和 34 年 3 月 特別教室、付属建物、給食棟の完成
昭和 37 年 5 月 完全給食の実施
昭和 43 年 10 月 第 1 次校舎拡張工事
昭和 46 年 10 月 校門前に校訓の築山を造成
昭和 61 年 10 月 平林 72-13 に新校舎・給食棟が完成
昭和 62 年 6 月 屋内運動場の完成
平成 2 年 6 月 プール、部室の完成。野球バックネットの設置
平成 11 年 9 月 コンピュータ室の設置
平成 12 年 2 月 校舎東側拡張工事の完成
平成 14 年 1 月 屋外照明の設置
平成 14 年 7 月 放送設備の受贈(末崎愛林公益会)
平成 19 年 4 月 末崎学校給食共同調理場の運用開始
平成 20 年 10 月 総合的学習の取り組みで第 24 回教育奨励賞「優秀賞」を受賞
平成 23 年 3 月 東日本大震災により校舎の一部が被災
平成 23 年 5 月 校庭に応急仮設住宅設置
平成 23 年 8 月 コンピュータ更新
平成 26 年 4 月 赤土倉仮設グラウンド、仮設テニスコート設置
平成 28 年 12 月 仮設住宅撤去に伴う校庭整備完了再使用開始
平成 30 年 8 月 校庭に夜間照明を設置

●教育目標

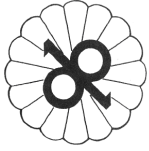
「かしこくあれ 心豊かであれ
たくましくあれ きびしくあれ」
かしこさ・やさしさ・たくましさ・きびしさをあわせ
持つ生徒の育成

●経営の基本(____は復興教育の視点)

- (1) 生徒や地域の実態を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある学校作りに努める。
- (2) 個性豊かでたくましい人間の育成を目指し、充実した学校生活の具現化を図る。
- (3) 家庭・地域社会との連携を深め、相互信頼のもと、生徒の健全育成を図る。
- (4) 人としてのあり方や自らの生き方を考えさせ、復興を担う人材の育成を図る。

●特色ある教育活動

- 1 総合的な学習の時間「産土タイム」
全校のテーマを「海と生きる」とし、学年ごとに次のような活動に取り組んでいる。
[1 年生]末崎のワカメ養殖について知り、種苗作業から収穫作業までを実体験することにより、ワカメ養殖に携わっている人の仕事に対しての考え方や生き方について学ぶ。
[2 年生]自分たちで育てたワカメの芯抜き作業や製品加工作業及び販売活動を通して、働くことの厳しさや人とのふれあいの大切さ、自己表現力の必要性を体感し、学習する。
[3 年生]海を育むための森林の働きを生態系の視点から学習するとともに、国と契約している学校林「産土の森」の下草刈り作業や植林活動を通して、海を自らの手で守ろうとする意識を持つ。
- 2 ボランティア活動
生徒会と生活委員会が中心となり、募金活動、施設訪問、花の植え替えや書き損じハガキ回収などの活動に取り組んでいる。
- 3 小・中連携した活動
小学校、小・中 PTA と連携しての道路清掃活動、生徒指導についての授業交流や実践交流を行っている。



あかさき
赤崎中学校

所在地／〒022-0007 大船渡市赤崎町字山口 107-1
T E L／0192-26-3525 F A X／0192-26-6542
校 長／菅生 裕之 生徒数／ 58 名
副校長／野里 洋介 教 職 員 数／ 16 名



●主な沿革

昭和 22 年 4 月 村立赤崎中学校設置、蛸ノ浦分校を蛸ノ浦小に併設
昭和 27 年 4 月 市立赤崎中学校と改称
昭和 27 年 12 月 独立校舎を山口に新築移転
昭和 33 年 1 月 屋内体育館の新築
昭和 39 年 5 月 完全給食の実施
昭和 42 年 7 月 県理科研究大会の開催
昭和 49 年 10 月 生徒会貯金部が大蔵大臣・日銀総裁表彰を受彰
昭和 55 年 7 月 プール(25m)の完成
昭和 58 年 2 月 PTA 活動ランニングコース設置
昭和 58 年 8 月 屋内体育館補修工事の完了
昭和 58 年 8 月 男子テニス部 全国大会準優勝
昭和 61 年 10 月 文部省指定「中学校教育課程一般・数学・外国語」学校公開
平成 4 年 3 月 大規模改造工事の完了
平成 5 年 4 月 山脇正邦作「そよ風」建立
平成 5 年 12 月 校庭整備の完了
平成 9 年 10 月 創立 50 周年式典
平成 13 年 3 月 体育館トイレ水洗化・渡り廊下改修工事完了
平成 17 年 10 月 給食室閉鎖・赤崎共同調理場へ移管
平成 19 年 12 月 創立 60 周年記念講演会
平成 20 年 1 月 体育館天井の改修
平成 23 年 3 月 東日本大震災の津波により校舎 2 階まで浸水
平成 23 年 4 月 大船渡中学校 3 階に移転
平成 24 年 7 月 仮設校舎(フレアイランド尾崎岬敷地内)に移転
平成 29 年 3 月 新校舎移転
平成 29 年 4 月 新校舎落成式
平成 31 年 3 月 赤崎津波記憶石建立
令和 元年 7 月 県中総体バドミントン女子団体優勝
令和 2 年 2 月 エアコン設置
令和 2 年 11 月 県新人戦バドミントン女子団体準優勝・個人戦優勝

●教育目標

- 1 進んで学び よく考える生徒
- 2 ねばり強く たくましい生徒
- 3 誠実で 思いやりのある生徒

●経営の方針

- (1) 生徒を中心に据えた学校づくり
- (2) 防災教育・復興教育の充実
- (3) 地域の文化の拠点としての開かれた学校づくり
- (4) 生徒を育てるための適切な手立てを考え、協力して実現を目指す教職員集団

●経営の重点

めざす生徒像 『目標を高くもち、心豊かに
たくましく生きる赤中生』

- (1) 生徒理解を基にした指導に努める
- (2) 「そなえる」を重点とした防災教育・復興教育の充実に努める
- (3) 赤中生としての誇りの醸成と地域の人材としての生徒の育成に努める
- (4) 自分の考えを相手に伝え、他と関わっていく指導に努める
- (5) 校内研究の推進と授業の充実に努める

●特色ある教育活動

- 1 授業と家庭学習を連動させた学びのサイクル化
- 2 進路目標に沿った調べ学習や体験学習の推進と赤中ソーランなどの発表活動
- 3 生徒会が推進する挨拶運動
- 4 アルミ缶回収や募金活動の推進
- 5 地域と共に行っている防災教育の推進



綾里中学校

所在地／〒022-0211 大船渡市三陸町綾里字黒土田 99-1

T E L／0192-42-2300 F A X／0192-42-2288

校長／村上 亮 生徒数／ 42 名

副校長／高橋 昭英 教職員数／ 17 名



●主な沿革

- 昭和 22 年 4 月 綾里村立綾里中学校創立
- 昭和 27 年 10 月 校舎竣工
- 昭和 31 年 9 月 村合併により三陸村立綾里中学校となる
- 昭和 34 年 3 月 屋内体育館新築落成
- 昭和 42 年 4 月 町制施行により三陸町立綾里中学校となる
- 昭和 54 年 3 月 新校舎の落成
- 平成 5 年 3 月 屋内運動場の改築
- 平成 9 年 11 月 綾里中学校創立 50 周年式典
- 平成 13 年 11 月 大船渡市立綾里中学校と改称
- 平成 23 年 3 月 東日本大震災により体育館が避難所となる
- 平成 23 年 5 月 校庭に応急仮設住宅設置
- 平成 26 年 8 月 「全国被災地中学生サミット(神戸市)」に参加
- 平成 27 年 12 月 校庭の応急仮設住宅撤去
- 平成 28 年 8 月 校庭復旧工事終了、校庭使用再開
- 平成 29 年 5 月 震災後初めて校庭で「運動会」開催
- 令和 元年 10 月 いわてユネスコ文化賞受賞
- 令和 元年 12 月 岩手県学校歯科保健優良校表彰
中学校の部最優秀賞

●教育目標

【総合目標】

- 深く考える(活用・探求)
- 全力をつくす(強い心・体)
- みんなで高まる(豊かな心)

【具体目標】

- ・高い知性を求めて、自ら学ぶ意欲を持ち、創造性に富み、深く考えることができる生徒の育成
- ・心身ともに健康で、困難を克服し、何事にも全力をつくすことのできる強い心と体を持つ生徒の育成
- ・互いを認め合い、奉仕の精神に満ちて、みんなで高まろうとする豊かな心を持つ生徒の育成

●目指す学校像

「みんなが誇りを持てる学校づくり」

- (1) 子どもたちが毎日学校へ行きたいと思える学校
- (2) 地域や保護者から子どもたちを安心して任せられる学校
- (3) 教職員にとって、所属感や有用感を味わえる学校

●経営の重点

有用感や達成感、所属感、そして、できる喜びやわかる喜びが味わえ、生徒一人一人にとって充実感に溢れた学校をめざす。

(1) 生徒一人一人の学力向上

- ① 課題解決型の授業展開を心がけ「わかる・できる」喜びを味わえる授業の創造をめざす。
- ② 加配教員を生かし、TTや少人数指導を生かした個々の能力に応じた極めの細かい指導を展開する。
- ③ 総合的な学習の時間や行事、特別活動などを活用し、表現力の育成を図る

(2) 生徒指導の充実

- ① 生徒一人一人の心を揺さぶる道徳指導を展開するとともに実態に即した多様なボランティア活動を積極的に行う中で、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という思いやりの心を養う。
- ② 日常的に「綾中魂」を意識させながら、工夫された各種行事の展開と教職員の適切な指導により、生徒一人一人が有用感や所属感、達成感を味わえるように学年経営の充実に努める。
- ③ 生徒一人一人の危機回避能力の育成を図る。

(3) 基礎体力や競技力の向上を図る体育指導の強化

- ① 部活動の充実を図るとともに、定期的に体力向上運動を推進し、体力の向上と気力の充実及び自主性や社会性の啓発に努める。
- ② 有機的保健室経営により学校課題及び感染症への極めの細かい対策を行う。
- ③ 食に関する指導の充実に努める。

(4) 組織体制の強化

- ① 運営会議と分掌部会を定期的に行ない、各担当と主任との協力体制を強化する。
- ② 統合に向けて、赤崎中学校と定期的に会議を開催する。

●特色ある教育活動

《総合的な学習の時間の推進

～ふるさとを知り、見つめ、自己の将来・生き方を考える～》

地域の優れた教育力を活用し、基幹産業の一つである水産業に係る体験を軸にしたキャリア教育の実践や剣舞・ささらの郷土芸能伝承活動を行っている。

また、地域の歴史・文化や震災に関連した内容を加味した学習を通じ、郷土を愛する生徒の育成や防災意識の向上に努めている。

小学校・中学校施設の実態

令和2年5月1日現在 / 単位: m²

学 校 名	学級数	児 童 生 徒 の 数	必要面積		保有面積		整備資格面積		要改築面積	
			校 舎	屋 内 運 動 場	校 舎	屋 内 運 動 場	校 舎	屋 内 運 動 場	校 舎	屋 内 運 動 場
盛小学校	8(2)	121	3,235	922	3,677	982	—	—		
大船渡小学校	8(2)	139	3,235	922	4,912	1,102	—	—		
末崎小学校	8(2)	141	2,932	922	4,683	1,059	—	—		
赤崎小学校	9(3)	121	3,437	922	3,439	946	—	—		
猪川小学校	14(2)	296	4,441	1,258	4,181	938	260	320		
立根小学校	11(3)	198	3,437	922	3,542	1,136	—	—		
日頃市小学校	8(2)	71	2,932	922	2,655	700	277	222		
大船渡北小学校	8(2)	119	2,932	922	5,858	1,129	—	—		
綾里小学校	7(1)	92	3,033	922	2,709	795	324	127		
越喜来小学校	9(3)	81	3,437	922	3,683	896	—	26		
吉浜小学校	5(1)	46	2,158	922	2,157	—	1	922		
計	95(23)	1425	35,209	10,478	41,496	9,683	862	1,617		
第一中学校	15(3)	424	5,873	1,511	5,246	1,033	627	478	2,495	1,033
大船渡中学校	9(3)	172	3,829	1,237	6,165	1,359	—	—		
末崎中学校	4(1)	67	2,579	1,162	3,477	1,237	—	—		
赤崎中学校	4(1)	58	2,579	1,162	3,581	1,793	—	—		
綾里中学校	3(0)	42	2,198	1,162	2,569	854	—	308		
計	35(8)	763	17,058	6,234	21,038	6,276	627	786	2,495	1,033

注: ()内は特別支援学級数(内数)。

大船渡市教育研究所

I 目 標

大船渡市学校教育方針に基づき、本市学校教育の充実・向上に資するための調査・研究を基本とした運営をする。

II 基本方針

- 1 教育に関する専門的及び技術的事項について教職員の研修を行い、学校教育の向上に資する。
- 2 各学校との連携を基本に、教育に関する課題解決に寄与する調査研究を行い、学習指導・生徒指導の充実に資する。
- 3 教育研究の成果を交流し、学校教育の充実・向上に資する。

III 事業計画

1 調査研究事業

- (1) 知能・学力検査・各種検査の実施と検査結果の分析
- (2) 教育課程に関する調査研究
- (3) 学習指導、生徒指導に関する調査研究
- (4) より良い学校生活と友達作りのためのアンケート(hyper Q-U)の実施と結果の分析

2 研究・研修事業

- (1) 各種研究会・研修会の実施
- (2) 各教科・道徳・外国語活動等についての研究・研修
- (3) 防災教育・キャリア教育等についての研究・実践
- (4) 英語指導助手(ALT)活用の研究・実践
- (5) 市内研究団体との共催
- (6) 実技講習 ・授業研究会 ・各種研修会 ・講演会 ・その他

3 生徒指導に関する事業

- (1) 大船渡市学校警察連絡協議会、生徒指導研究委員会及びいじめ問題対策連絡協議会の開催
- (2) 関係機関との連携

4 特別支援教育に関する事業

- (1) 市教育支援委員会の開催
- (2) 特別支援教育についての研究・推進
- (3) 特別支援教育支援員の配置・研修会の開催

5 教育相談事業

- (1) 教育相談・適応指導教室(とんとん教室)の開設
- (2) 教育相談「ふれあい電話(TEL28-2302)」の開設
- (3) 専任の教育相談員の配置
- (4) 電話・面接・訪問等による相談
- (5) 心の教室相談員の配置(中学校)

6 編集・出版事業

- (1) 児童・生徒作文集「おおふなと」
- (2) 小学校社会科副読本「わたしたちの大船渡」
- (3) 大船渡市学校教育方針

Ⅳ 事業の具体的内容

1 知能検査・学力検査・各種検査の実施

- ・ 市内児童生徒の学力の実態を全国標準と照合して客観的に把握し、効果的な教育課程の構成及び学習指導法改善の資料とする。
- ・ 児童・生徒一人一人の個性・能力に即した指導を充実するための資料とする。

(1) 対象学年と教科等

	学 年	知能検査	標準学力検査(NRT)
小学校	2 学年 5 学年	○	国語・算数
中学校	2 学年	○	国語・社会・数学・理科・英語

(2) 検査用紙

- ・ 知能検査 教研式新学年別知能検査
- ・ 学力検査 標準学力検査 NRT (集団基準準拠検査)

(3) 検査の処理

- ・ 知能検査は、各学校において採点・集計処理する。

- ・ 学力検査、各種検査は、業者に委託して採点・集計処理する。
- ・ 学校ごとに、結果に基づき、その後の活用・指導についてまとめる。

2 より良い学校生活と友達作りのためのアンケート(hyper Q-U)の実施

より良い学校生活と友達作りを目的として実施する。

- (1) 調査対象 小学校…3年生、5年生、中学校…全学年(2年生のみ2回)
- (2) アンケート調査の実施 6月上旬(1回目)、10月末(2回目)

3 作文指導に関する研究及び文集「おおふなと」の編集

文集を編集・刊行するとともに、豊かな表現力を育てる作文指導の方法を研究する。

- (1) 委員会組織 委員長1名(校長)、副委員長1名(副校長)、委員6名
- (2) 編集委員会議は、年3回とする。(11月、1月、2月)

4 心の教室相談員研修会

- (1) 心の教室相談員の連携をはかり、悩みをもつ生徒の回復について研修を深めるとともに、その回復に努める。
- (2) 年3回実施する。

5 学力向上研究委員会

学力向上を図るため、当市の課題を明らかにし、今後の取り組みについて研究する。

- (1) 委員会組織 委員長1名(校長)、副委員長1名(校長)、委員15名
- (2) 研究委員会は、年3回とする。(5月、9月、12月)

6 小学校(社会科)副読本編集委員会

副読本編集作業を行う。

- (1) 委員会組織 委員長1名(校長)、副委員長1名(副校長)、委員11名(小学校11名)
- (2) 編集委員会は、年4回とする。(6月、9月、11月、2月)

7 幼児ことばの教室

4歳から小学校入学前のことばの障がいのある幼児について、指導・相談を行う。

- (1) 「幼児ことばの教室」(盛小学校内)を開設し、専門の指導員を配置する。
- (2) 指導期間 月曜日～金曜日 9:00～12:00

8 運営委員会

研究所運営の反省と来年度の計画について検討する。

- (1) 委員会組織 校長 4 名、副校長 2 名、教務主任 1 名、研究主任 1 名
- (2) 運営委員会は、年 1 回とする。(10 月)

9 研究協力校による研究の推進

- ・ 平成 14・15・16 年度 大船渡中学校(学力向上フロンティア事業 文部科学省指定)
- ・ 平成 15・16 年度 第一中学校、盛小学校、猪川小学校、立根小学校(ジョイントスクール県指定)
- ・ 平成 15・16 年度 崎浜小学校(小規模・複式教育 市教育委員会指定)
- ・ 平成 15・16 年度 綾里小学校(総合的な学習 市教育委員会指定)
- ・ 平成 16 年度 大船渡小学校(国語 市教育委員会指定)
- ・ 平成 16・17 年度 末崎小学校(算数 市教育委員会指定)
- ・ 平成 19・20 年度 赤崎小学校(小学校における英語活動等の国際理解活動推進事業 文部科学省指定)
- ・ 平成 20・21 年度 吉浜小学校、吉浜中学校(道徳・教育実践研究事業 文部科学省指定)
- ・ 平成 25 年度 立根小学校、日頃市小学校、末崎中学校、赤崎中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 平成 26 年度 盛小学校、大船渡小学校、大船渡中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 平成 27 年度 猪川小学校、吉浜小学校、日頃市中学校、越喜来中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 平成 28 年度 綾里小学校、越喜来小学校、第一中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 平成 29 年度 末崎小学校、大船渡北小学校、綾里中学校、吉浜中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 平成 30 年度 赤崎小学校、末崎中学校(大船渡市授業交流会)
- ・ 令和元年度 立根小学校、日頃市小学校、赤崎中学校(大船渡市授業交流会)

V 運営の組織

1 研究員

- ・ 文集編集委員 8 名(小学校 5 名・中学校 3 名)
- ・ 学力向上研究委員 18 名(小学校 12 名・中学校 6 名)
- ・ 小学校(社会科)副読本編集委員会 13 名(小学校 13 名)
- ・ 運営委員会 8 名

2 職員

所長(兼任)1 名、係長(兼任)1 名、指導主事(県職)2 名、外国語指導助手 5 名、教育相談員 2 名、幼児ことばの教室指導員 1 名、巡回型スクールカウンセラー 2 名

学校給食

学校給食は明治 22 年に山形県鶴岡町で行われて以来、100 年を越える歴史がある。この間、戦後の食糧不足や高度成長期などを乗り越え、給食の果たす役割は、単に児童・生徒への栄養の供給から、「食」という生きた教材を通して正しい食事のあり方や好ましい人間関係の体得など、食生活やライフスタイルの変化とともに大きく変容してきている。

当市では、昭和 24 年に末崎小学校の補食給食が最初で、昭和 30 年代には多くの小・中学校に給食が導入され、現在のように全校完全給食となったのは昭和 49 年である。給食が導入された時代は、文部省、厚生省、農林水産省による「学校給食実施の普及奨励について」の通達があった直後であり、一部の学校ではユニセフによる牛乳給食を実施した。米飯給食は、最初、昭和 46 年に大船渡中学校で開始され、当初は月 1～2 回程度実施されていたが、昭和 50 年代前半までに全小中学校で実施されるようになり、近年では、週平均約 3 回実施されている状況にある。

食器については、当初、アルマイト製の食器を使用していたが、平成元年頃から順次ポリプロピレン製に変更し、その後、環境ホルモン問題に対応して平成 11 年からは耐熱 ABS 樹脂製、平成 26 年からは耐熱 PEN 樹脂製に更新している。

衛生管理面では、これまで 2 回の食中毒発生があり、これを教訓とするとともに、平成 8 年の全国的な O-157 食中毒事故を踏まえて施設・設備の改善を図っているほか、調理従事者を対象とした研修会や、施設ごとの研修などで衛生管理意識の向上を図り、食中毒の防止に努めている。

旧三陸町においては、昭和 34 年 11 月に越喜来小学校で牛乳給食を開始、昭和 37 年 5 月から甫嶺小学校で町内初の自校方式による完全給食が実施された。

その後、昭和 45 年 4 月に町立第 2 共同調理場、同年 6 月には第 1 共同調理場の開設により、町内全校の完全給食が開始された。

近年の少子高齢化や地方分権、行政改革など社会の変化に対応するため、平成 17 年度から学校給食調理場の拠点化を推進しており、平成 26 年度までに、全校で共同調理場化、給食センター化を図った。

また、調理場の集約化に併せて配送業務を民間委託により実施しているほか、平成 25 年度からは、調理業務も民間委託を導入し、平成 31 年 4 月現在、1 給食センター、3 共同調理場が民間委託による調理を行っている。

平成 26 年度からは、学校給食費の公会計化を図り、市内全校の給食費及び給食日数を統一している。

I 主な沿革

昭和 24 年 6 月	末崎小学校で補食給食(脱脂粉乳、汁物)の開始
昭和 24 年頃	末崎中学校で牛乳給食の開始
昭和 32 年頃	末崎中学校で補食給食の開始
昭和 34 年 11 月	越喜来小学校で牛乳給食の開始
昭和 35 年 9 月	大船渡小学校でユニセフミルク給食の開始
昭和 37 年 5 月	末崎小・中学校で完全給食の開始 越喜来小学校、甫嶺小学校で完全給食の開始
昭和 37 年 6 月	盛小学校で補食給食の開始
昭和 37 年 9 月	立根小学校で補食給食の開始
昭和 37 年 11 月	赤崎中学校で牛乳給食の開始
昭和 38 年 1 月	吉浜小学校で牛乳給食の開始
昭和 38 年 5 月	日頃市小・中学校で補食給食の開始
昭和 38 年 7 月	赤崎小学校で完全給食の開始
昭和 39 年 2 月	綾里小学校で牛乳給食の開始
昭和 39 年 4 月	盛小学校で完全給食の開始、蛸ノ浦小学校で牛乳給食の開始
昭和 39 年 5 月	赤崎中学校で完全給食の開始
昭和 39 年 7 月	大船渡中学校で牛乳給食の開始
昭和 40 年 2 月	猪川小学校で完全給食の開始
昭和 40 年 3 月	立根小学校で完全給食の開始
昭和 41 年 4 月	綾里小学校で完全給食の開始
昭和 41 年 5 月	砂子浜小学校で完全給食の開始
昭和 42 年 1 月	日頃市小中学校給食共同調理場の設置
昭和 42 年 4 月	日頃市小・中学校で完全給食の開始
昭和 42 年 10 月	赤崎中学校が全国学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
昭和 43 年 1 月	大船渡小学校で完全給食の開始
昭和 43 年 11 月	赤崎小学校が学校給食運営指導部門で文部大臣表彰受賞
昭和 44 年	崎浜小学校で牛乳給食の開始
昭和 44 年 4 月	大船渡中学校で完全給食の開始
昭和 45 年 4 月	三陸町立小中学校給食第 2 共同調理場を開設。綾里小・中学校に完全給食の配送開始
昭和 45 年 6 月	三陸町立小中学校給食第 1 共同調理場を開設。越喜来小学校、崎浜小学校、甫嶺小学校、吉浜小学校、越喜来中学校、吉浜中学校に完全給食の配送開始
昭和 46 年 7 月	蛸ノ浦小学校で完全給食の開始
昭和 46 年	大船渡中学校で米飯給食の開始
昭和 47 年 4 月	末崎小学校で米飯給食の開始
昭和 48 年	蛸ノ浦小学校・日頃市小中学校給食共同調理場・盛小学校で米飯給食の開始
昭和 49 年	立根小学校で米飯給食の開始
昭和 49 年 12 月	第一中学校で完全給食及び米飯給食の開始
昭和 50 年 8 月	大船渡北小学校で完全給食の開始
昭和 50 年	猪川小学校・末崎中学校で米飯給食の開始

昭和 51 年	大船渡北小学校で米飯給食の開始
昭和 58 年 4 月	盛小学校・猪川小学校・蛸ノ浦小学校で土曜牛乳の開始
昭和 62 年	大船渡北小学校・大船渡中学校で土曜牛乳の開始
平成 2 ～ 4 年	旧大船渡市内全校でアルミ製食器からポリプロピレン製食器に更新
平成 5 年 4 月	猪川小学校・大船渡北小学校で土曜牛乳の中止
平成 6 年 1 月	盛小・大船渡中学校が学校給食優良校として県学校給食会長表彰受賞
平成 6 年 3 月	盛小学校で土曜牛乳の中止
平成 6 年 11 月	大船渡中学校が学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
平成 8 年 12 月	病原性大腸菌 O-157 対策のため、冷凍庫、中心温度計や包丁まな板殺菌庫を各調理場に配備
平成 9 年 1 月	猪川小学校が学校給食優良校として岩手県学校給食会長表彰受賞
平成 9 年 3 月	市教育委員会と市学校保健会給食部会が合同で「学校給食衛生管理マニュアル」を策定
平成 10 年 4 月	三陸町立小中学校給食第 2 共同調理場を改築、ドライシステム化。
平成 12 年 3 月	蛸ノ浦小学校、大船渡北小学校、末崎中学校で耐熱 ABS 樹脂製食器に更新
平成 12 年 9 月	赤崎小学校、猪川小学校、大船渡北小学校で耐熱 ABS 樹脂製食器に更新
平成 12 年 11 月	「子供の『食』と学校給食のあり方について考える懇談会」、「大船渡市学校給食調査検討委員会」を設置
平成 12 年 12 月	旧市内小学校 5 年生、中学校 2 年生とそれぞれの保護者を対象として子供の「食」と生活習慣に関するアンケート調査を実施
平成 13 年 3 月	『子供の「食」と生活習慣に関する調査結果及び望ましい食習慣づくりのための対策』を策定
平成 13 年 8 月	大船渡小学校、末崎小学校、立根小学校で耐熱 ABS 樹脂製食器に更新 冊子『子供の「食」と生活習慣に関する調査結果及び望ましい食習慣づくりのための対策』を刊行
平成 14 年 8 月	盛小学校、日頃市小学校、日頃市中学校で耐熱 ABS 樹脂製食器に更新
平成 15 年 3 月	「子供の『食』と学校給食のあり方について懇談会」より意見書が提出される
平成 15 年 8 月	大船渡中学校、赤崎中学校で耐熱 ABS 樹脂製食器に更新
平成 15 年 7・8 月	市内 12 地区において「学校給食について意見を聴く会」を実施
平成 16 年 2 月	「大船渡市学校給食の今後の方向性について」を市議会全員協議会に報告
平成 17 年 11 月	蛸ノ浦小学校と赤崎中学校の給食施設を閉鎖し、拠点化施設として、赤崎小学校の給食施設を改修し赤崎学校給食共同調理場を整備 日頃市小中学校共同調理場を閉鎖し、拠点化施設として、立根小学校の給食施設を改修し立根学校給食共同調理場を整備
平成 19 年 4 月	末崎小学校と末崎中学校の給食施設を閉鎖し、拠点化施設として、末崎中学校の給食施設を改修し末崎学校給食共同調理場を整備
平成 21 年 4 月	盛小学校と大船渡北小学校の給食施設を閉鎖し、拠点化施設として、大船渡北小学校の給食施設を改修し大船渡北学校給食共同調理場を整備
平成 22 年 4 月	大船渡小学校と大船渡中学校の給食施設を閉鎖し、拠点化施設として、大船渡中学校の給食施設を改修し大船渡学校給食共同調理場を整備
平成 23 年 4 月	東日本大震災による津波被災のため、赤崎学校給食共同調理場を休止。赤崎中学校分を大船渡学校給食共同調理場が担当、赤崎小学校、蛸ノ浦小学校分を大船渡北学校給

	食共同調理場が担当
平成 25 年 3 月	財団法人三陸教育施設会解散
平成 25 年 4 月	立根学校給食共同調理場、綾里学校給食共同調理場、越喜来学校給食共同調理場で調理業務の民間委託を開始
平成 25 年 12 月	東日本大震災による津波被災のため休止していた赤崎学校給食共同調理場を廃止
平成 26 年 4 月	学校給食費会計の全面公会計化、北部学校給食センターの開設(調理業務民間委託) 北部学校給食センターから配送される小中学校に、耐熱 PEN 樹脂製の食器を導入
平成 26 年 5 月	猪川小学校、第一中学校の給食施設を閉鎖し、北部学校給食センターからの給食提供を開始
平成 26 年 8 月	立根学校給食共同調理場、越喜来学校給食共同調理場を 7 月末で廃止し、両調理場の所管校及び赤崎小学校、蛸ノ浦小学校、赤崎中学校に北部学校給食センターからの給食提供を開始
平成 27 年 4 月	末崎学校給食共同調理場で調理業務の民間委託を開始
平成 30 年 8 月	大船渡学校給食共同調理場、大船渡北学校給食共同調理場、末崎学校給食共同調理場に耐熱PEN樹脂製の食器を導入
平成 31 年 4 月	大船渡北学校給食共同調理場で調理業務の民間委託を開始

Ⅱ 学校給食実施計画

(令和2年5月1日現在)

施設名	担当校	児童・生徒数 (提供数)	給食従事者数		※2 実施日数		※3 給食費(年額)		現行調理場設置年度
			栄養士	調理員	元年度 実績	2年度 計画	元年度 実績	2年度 計画	
大船渡学校給食共同調理場	大小	309	1	5	173	182	46,006	51,400	平 22
	大中				173	180	50,458	55,500	
大船渡北学校給食共同調理場	盛小	240	県 1	※16	172	182	45,740	51,400	平 21
	北小				172	182	45,740	51,400	
末崎学校給食共同調理場	末小	208	県 1	※14	173	182	46,006	51,400	平 19
	末中				173	180	50,458	55,500	
綾里学校給食共同調理場	綾小	134	1	※13	172	182	45,740	51,400	平 19
	綾中				174	180	50,750	55,500	
北部学校給食センター	赤小	1,292	1 県 1 会 1	※123	173	182	46,006	51,400	平 26
	猪小				172	182	45,740	51,400	
	立小				172	182	45,740	51,400	
	日小				172	182	45,740	51,400	
	越小				172	182	45,740	51,400	
	吉小				172	182	45,740	51,400	
	一中				173	180	50,458	55,500	
	赤中				173	180	50,458	55,500	

※1 上表において「調理員」のうち調理業務を民間委託している大船渡北学校給食共同調理場、末崎学校給食共同調理場、綾里学校給食共同調理場、北部学校給食センターについては、受託者の従事者数を表す。

※2 新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校措置に伴い、令和元年度の給食実施回数が当初の実施回数(小学校 182 日、中学校 180 日)よりも最大 10 回減となった。

※3 新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校措置に伴い、令和元年度の給食費が当初の徴収額(小学校 48,400 円、中学校 52,500 円)より最大 2,660 円減額となった。